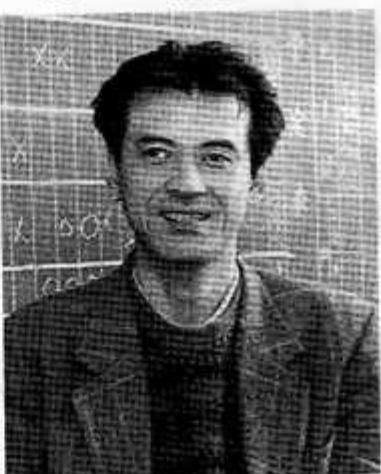


おはようサロン

NPO法人自然体験
共学センター理事長

辻 一憲さん(39)



◇「厳しく教え込むのではなく、子どもが協力して生活するためのサポートをしたい」。美山町を拠点に、中小学生を対象とした自然体験事業を実施している。県内のほか関西地方からも参加があり、子どもたちがキャンプや川遊び、畑仕事などを通じて協調性の学べるプログラムを組む。

◇「国際交流の一環として、北東アジアと日本の子どもたちの共同生活を企画したのが一つのきっかけ。今は同町上味見地区の廃校手。(上田 洪基)

子どもの協調性サポート

アの学生らも運営

に加わり、活動の幅は広がる。

「参加した子が十年、二十年後にどういう大人になるか。それにより自分たちの活動を評価できるのではないか」と話す。美山町中

に寝泊まりする。「森や山が好きで、な子が増えれば、山村の抱える問題も解決に向かうのではない

か」。活動には里山の荒廃を防

ぎ、文化と生活を守る狙いもあ